**世界トップレベル研究拠点プログラム**

**平成29年度公募　二次審査**

**ホスト機関からのコミットメント**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日　付

　文部科学省　宛

ホスト機関名

ホスト機関の長の役職・氏名

署名

　「世界トップレベル研究拠点プログラム」に採択された「　（拠点名）　」に関し、以下に示す事項について責任をもって措置していくことを確認する。

**＜中長期的な計画への位置づけ＞**

※「当該拠点をホスト機関の中長期的な計画上に明確に位置づけ」るということに関し、どのような計画にどのような形で位置づけるかについて具体的に記載。

**＜具体的措置＞**

※　以下のそれぞれの事項について、具体的措置を記載。

1. **公募要領「6. ホスト機関からのコミットメント」に示された内容に基づき、当該拠点がその拠点運営及び研究活動のために必要な支援を行う。**
2. **当該拠点をホスト機関内の恒久的な組織として位置付けるために必要となる既存組織の再編を含むホスト機関の中長期的な組織運営の方向性に係る基本方針の表明、今後の具体的な組織再編に向けたスケジュールの策定を行う。**
3. **本プログラムの実施期間が終了した後も、当該拠点が「世界トップレベル拠点」であり続けるために必要な支援を行う。**
4. **拠点運営に一定の独立性を確保するため、「拠点構想」実施にあたって必要な人事や予算執行等に関し、実質的に拠点長が判断できる体制を整える。**
5. **機関内研究者を集結させるに当たり、ホスト機関内の他の部局における教育研究活動にも配慮しつつホスト機関内での調整を積極的に行い、拠点長を支援する。**
6. **機関内の従来の運営方法にとらわれない手法（英語環境、能力に応じた俸給システム、トップダウン的な意志決定システム、大学院教育との連携　等）を導入できるように機関内の制度の柔軟な運用、改正、整備等に協力する。**
7. **インフラ（施設（研究スペース等）、設備、土地等）の利用に関し便宜を図る。**
8. **その他、当該拠点が「拠点構想」を着実に実施し、名実ともに「世界トップレベル拠点」となるために最大限の支援をする。**
9. **ホスト機関自らが優れた取組として評価した拠点の成果について、ホスト機関全体への自主的な展開・波及を図る。**
10. **すでにWPIプログラムによって形成された拠点を持つホスト機関については、既存の拠点を世界トップレベル拠点として維持・発展させるための十分な支援を行い、また、新たな拠点への十分な支援を両立させる。**